

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月19日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンワドー

コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長新業態開発担当
兼 管理担当 (氏名) 中村 勝憲

TEL 017-782-3200

四半期報告書提出予定日 平成25年9月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年2月21日～平成25年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	15,415	△0.4	263	△42.3	297	△37.1	169	△35.2
25年2月期第2四半期	15,469	0.4	456	△6.6	473	△2.1	261	206.2

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 236百万円 (△4.5%) 25年2月期第2四半期 247百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	32.13	—
25年2月期第2四半期	49.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	18,879	5,424	28.7	1,027.42
25年2月期	17,104	5,251	30.7	994.69

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 5,424百万円 25年2月期 5,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月21日～平成26年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	5.8	1,000	11.4	1,100	13.0	550	5.1	104.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	5,280,000 株	25年2月期	5,280,000 株
26年2月期2Q	528 株	25年2月期	528 株
26年2月期2Q	5,279,472 株	25年2月期2Q	5,279,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3．継続企業の前提に関する重要事象等	4
4．四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年2月21日～平成25年8月20日)における我が国経済は、昨年末に発足した新政権の経済政策と金融緩和策が好感され円安・株高へと転じたほか、輸出環境の持ち直し等により、景気回復への期待感が高まっております。しかしながら海外経済の下振れや、円安へ転じた影響による原材料価格の高騰などマイナス面もみられ、不透明感は払拭されない状況にあります。

このような環境の中、当社グループの営業面では、4月にジョーシン中央店がグランドオープンし、家電売場の充実を図ったほか、従来より推し進めている食品部門の強化・拡充策として、業務スーパーを北海道地区に4ヵ店(同地区では初出店)、青森地区に1ヵ店導入し、お客さまの利便性向上に努めました。ホームセンター部門では、主力である季節商品の早期展開や、品揃え、価格等の見直しを行ったほか、新商品のアイテムを増やし、売上確保に努めました。しかし、春先の降雪や低温、大型連休を挟んだ行楽シーズンの天候不順により、季節性のある部門が影響を受け、第2四半期連結累計期間においては厳しい状況となりました。経費面においては、家電売場の増設や食品部門強化に伴う人員増加と、冷凍・冷蔵設備の増設によって、人件費、水道光熱費が増加しました。その他、店舗改装等により広告宣伝費、販売促進費、修繕費、減価償却費が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,415百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は263百万円(前年同期比42.3%減)、経常利益は297百万円(前年同期比37.1%減)、四半期純利益は169百万円(前年同期比35.2%減)となり、減収減益となりました。減益の要因は、主に食品部門の売上構成比の上昇による売上総利益率の低下及び店舗改装等による販売費及び一般管理費の増加によるものであります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

「リビング」

「リビング」の売上高は4,271百万円(前年同期比4.2%減)となりました。春先の低温による暖房用品の特需や、新規に取り組んだ布団、マットレス等の寝具やソファが好調でした。その後、気温の上昇と共に、い草関連商品が好調に売上を伸ばしました。一方で、低温の影響により低迷していた夏物肌着、収納ケース、物干し台等が季節の推移と共に勢いを取り戻したものの、計画ラインまでは達しませんでした。紙製品類が為替の影響により値上がりし、ティッシュ、トイレットペーパー類が売上を落としました。家電では猛暑の影響によりエアコンが売上を伸ばしたほか、小型液晶テレビが好調に推移しました。しかし、大型液晶テレビ、レコーダーの価格上昇で販売数が伸びず売上を大きく落とし、関連商品であるアンテナ、分波器等も不振でした。

この結果、セグメント損失は48百万円(前年同期は21百万円のセグメント利益)となりました。

「食品」

「食品」の売上高は5,131百万円(前年同期比5.3%増)となりました。低温による桜の開花時期の遅れや、大型連休時期の天候不順により、清涼飲料、お茶等の小型ペット飲料が不調でした。一方で、7月に入り気温の上昇とともに不調に推移していた冷蔵品、日配品が売上を伸ばしたほか、ビールや新ジャンルの酒類が好転しました。また、従来より進めている食品部門の強化策として、3月に大館店へ日配品、冷蔵品を導入するなど既存店の食品売場拡充や品揃え、価格等の見直しを行ったことにより、缶飲料、冷凍食品、菓子が好調に推移しました。さらに北海道では初となる業務スーパーを4月に本通店、上磯店、登別店、5月に砂川店、8月に青森東バイパス店にそれぞれ導入したことにより食品部門全体の売上高を押し上げ前年を上回りました。

この結果、売上高は増収となりましたが、セグメント利益は店舗改装等による販売費及び一般管理費が増加したため94百万円(前年同期比34.1%減)となりました。

「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は3,330百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

「DIY」では、電動工具、先端パーツ、単管、セメント等が堅調に推移しました。一方で、昨年発生した雪害特需や竜巻被害による補修需要の反動減が見られ、住宅の屋根・壁等の修繕に使用する建築資材等が不調であり、補修に関連した工具も売上を落としました。また、7～8月にかけての季節商品ピーク時においては、長雨及び局地的豪雨の影響により網戸関連が低調だったほか、7月下旬からの猛暑の影響により塗料等の屋外作業用品が売上を落としました。

「グリーン」では、季節商品の早期展開や新規商品の取り扱いにより売上確保に努めましたが、残雪や低温の影響により主力商品である花・野菜苗、用土、肥料、除草剤等で売上を落としました。反面、除雪用品、除雪機、防寒衣料、レインウェア、長靴等に需要が生じ前年を上回りましたが、主力商品の不振をカバー出来ずDIY&グリーン全体としては減収となりました。

この結果、セグメント利益は119百万円(前年同期比31.5%減)となりました。

「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は1,863百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

「カー」では、長引く降雪の影響で、ワイパーブレード、スノーブラシ、不凍液や解氷剤等の冬季用品が売上を伸ばしました。一方で、新車販売台数の減少からタイヤ、レーダー、エンジンスターターが売上を落としたほか、スマートフォンの普及や地デジ需要が落ち着いていたことによりポータブルナビが売上を落としました。

「レジャー」では、テント、チェア、コンロ等の厳選商品を早期割引で販売したことにより売上を伸ばしました。春先に苦戦していたバーベキュー関連商品が天候の回復によって好調に売上を伸ばしました。気温の上昇とともに海水浴用品需要が生じ、水泳・マリン用品が好調に推移しました。しかしながら、主力の自転車は一部の軽快車、通勤用車は好調だったものの、全体的には販売ピーク時期の天候不順が客数に響き、売上を落としました。

この結果、セグメント利益は17万円（前年同期比34.0%減）となりました。

「その他」

「その他」の売上高は818百万円（前年同期比7.5%増）となりましたが、セグメント利益は10百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,774百万円増加し、18,879百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,345百万円増加し、6,483百万円となりました。主に、現金及び預金が1,089百万円、商品及び製品が季節商品揃え等により165百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ429百万円増加し、12,395百万円となりました。主に、敷金及び保証金が回収により114百万円減少しましたが、投資有価証券が株式の取得等により384百万円、有形固定資産その他の内、リース資産が店舗改装の設備投資等により180百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,602百万円増加し、13,455百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ219百万円増加し、7,925百万円となりました。主に、短期借入金が約定返済等により765百万円、未払法人税等が163百万円減少しましたが、1年内返済予定の長期借入金が714百万円、支払手形及び買掛金が仕入高増等により456百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,382百万円増加し、5,529百万円となりました。主に、社債が260百万円減少しましたが、長期借入金が1,495百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ172百万円増加し、5,424百万円となりました。利益剰余金が106百万円、その他有価証券評価差額金が66百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ1,110百万円増加し、1,538百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、342百万円（前年同期は839百万円の獲得）となりました。

これは主に、法人税等の支払額が275百万円、たな卸資産の増加が165百万円となりましたが、仕入債務の増加が464百万円、税金等調整前四半期純利益が294百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、230百万円（前年同期は148百万円の獲得）となりました。

これは主に、敷金及び保証金の回収による収入が122百万円となりましたが、投資有価証券の取得による支出が285百万円、有形固定資産の取得による支出が84百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、996百万円（前年同期は1,006百万円の使用）となりました。

これは主に、社債の償還による支出が340百万円、配当金の支払額が63百万円となりましたが、長期・短期借入金が1,445百万円増加となったことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月8日に公表しました業績予想に変更はありません。

上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	468,416	1,558,361
受取手形及び売掛金	311,122	400,323
有価証券	3,148	3,154
商品及び製品	4,112,017	4,277,850
繰延税金資産	95,719	84,507
その他	147,730	159,555
貸倒引当金	-	59
流動資産合計	5,138,154	6,483,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,142,299	2,123,478
土地	5,488,963	5,488,963
その他(純額)	272,466	463,669
有形固定資産合計	7,903,729	8,076,111
無形固定資産		
投資その他の資産	19,370	18,645
投資有価証券	942,208	1,326,547
繰延税金資産	57,049	25,475
敷金及び保証金	2,596,206	2,481,655
その他	455,439	475,160
貸倒引当金	7,525	7,675
投資その他の資産合計	4,043,377	4,301,164
固定資産合計	11,966,476	12,395,921
資産合計	17,104,631	18,879,614
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,015,706	3,472,654
短期借入金	1,765,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,139,225	1,853,850
1年内償還予定の社債	700,000	620,000
未払法人税等	285,650	122,225
賞与引当金	40,700	42,080
役員賞与引当金	14,200	7,290
ポイント引当金	87,695	87,154
その他	658,326	720,723
流動負債合計	7,706,504	7,925,979
固定負債		
社債	930,000	670,000
長期借入金	2,403,575	3,899,325
退職給付引当金	258,549	268,047
役員退職慰労引当金	77,960	66,920
資産除去債務	223,220	225,532
その他	253,362	399,576
固定負債合計	4,146,667	5,529,400
負債合計	11,853,172	13,455,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	3,648,335	3,754,612
自己株式	261	261
株主資本合計	5,099,904	5,206,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,555	218,053
その他の包括利益累計額合計	151,555	218,053
純資産合計	5,251,459	5,424,234
負債純資産合計	17,104,631	18,879,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
売上高	15,469,621	15,415,267
売上原価	12,185,233	12,241,026
売上総利益	3,284,388	3,174,240
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,082,265	1,138,757
広告宣伝費	166,499	179,451
不動産賃借料	474,243	466,322
賞与引当金繰入額	35,715	42,080
役員賞与引当金繰入額	7,100	7,290
ポイント引当金繰入額	80,235	87,154
退職給付費用	27,704	30,221
その他	953,664	959,353
販売費及び一般管理費合計	2,827,428	2,910,632
営業利益	456,959	263,608
営業外収益		
受取利息	2,778	2,035
受取配当金	9,853	12,557
不動産賃貸料	18,042	17,476
発注システム使用料	14,280	16,674
その他	21,861	27,177
営業外収益合計	66,816	75,922
営業外費用		
支払利息	43,445	34,836
支払保証料	3,503	2,271
その他	3,556	4,792
営業外費用合計	50,505	41,899
経常利益	473,270	297,630
特別利益		
固定資産売却益	143	1
特別利益合計	143	1
特別損失		
固定資産売却損	356	65
固定資産除却損	284	3,450
特別損失合計	641	3,515
税金等調整前四半期純利益	472,772	294,116
法人税、住民税及び事業税	210,831	113,759
法人税等調整額	70	10,727
法人税等合計	210,902	124,486
少数株主損益調整前四半期純利益	261,870	169,630
四半期純利益	261,870	169,630

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	261,870	169,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,690	66,498
その他の包括利益合計	14,690	66,498
四半期包括利益	247,180	236,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,180	236,128
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	472,772	294,116
減価償却費	119,220	132,591
固定資産売却損益(は益)	212	64
固定資産除却損	284	3,450
売上債権の増減額(は増加)	45,228	84,539
たな卸資産の増減額(は増加)	75,036	165,832
仕入債務の増減額(は減少)	610,334	464,243
その他	46,674	4,653
小計	1,129,233	639,440
利息及び配当金の受取額	13,775	14,461
利息の支払額	40,394	36,121
保険金の受取額	38,609	183
法人税等の支払額	301,868	275,945
営業活動によるキャッシュ・フロー	839,355	342,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	79,110	84,211
投資有価証券の取得による支出	29,335	285,373
投資有価証券の売却による収入	65,033	31,258
投資有価証券の償還による収入	110,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	27,240	48,900
敷金及び保証金の回収による収入	104,339	122,480
その他	4,377	34,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	148,064	230,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,130,000	2,550,000
短期借入金の返済による支出	2,570,000	3,315,000
長期借入れによる収入	1,500,000	3,000,000
長期借入金の返済による支出	1,556,340	789,625
社債の償還による支出	420,000	340,000
配当金の支払額	63,176	63,491
その他	27,074	45,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,006,590	996,856
現金及び現金同等物に係る換算差額	118	1,242
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	19,051	1,110,087
現金及び現金同等物の期首残高	594,760	428,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	575,708	1,538,685

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リビング	食品	DIY & グリーン	カー & レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,460,819	4,873,607	3,460,362	1,913,242	14,708,032	761,589	15,469,621	-	15,469,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	771	16	189	13,945	14,923	6,940	21,864	21,864	-
計	4,461,591	4,873,624	3,460,551	1,927,188	14,722,955	768,530	15,491,485	21,864	15,469,621
セグメント利益	21,711	143,527	174,064	27,067	366,371	11,007	377,378	79,580	456,959

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額79,580千円には、支払利息の調整額43,445千円、支払保証料の調整額3,503千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額28,500千円及び当社グループ間売上に係る調整額4,131千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リビング	食品	DIY & グリーン	カー & レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,271,515	5,131,014	3,330,157	1,863,733	14,596,420	818,847	15,415,267	-	15,415,267
セグメント間の内部 売上高又は振替高	933	22	196	10,965	12,117	6,880	18,997	18,997	-
計	4,272,449	5,131,036	3,330,353	1,874,699	14,608,537	825,727	15,434,265	18,997	15,415,267
セグメント利益	48,034	94,556	119,174	17,873	183,569	10,511	194,081	69,527	263,608

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額69,527千円には、支払利息の調整額34,836千円、支払保証料の調整額2,271千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額28,500千円及び当社グループ間売上に係る調整額3,919千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。